

# 在学生イベント！2023

2023年6月29日（木）に百周年時計台記念館国際交流ホールにて「在学生イベント！2023」を開催しました。在学生イベントは、経済学部との共催で、経済学部生が自由に参加できる講演会と学生特別会員限定の交流会から構成され、在学中から同窓会を身近なものに感じてもらいたいという趣旨で行っています。2023年5月に新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行したため、2023年度は4年ぶりに食事を伴った交流会を開催しました（以下、肩書きはイベント当日のもの）。

## 【講演会】

講演会は、鈴木拓海さん（3回生の司会）で、経済学部長（同窓会理事）の依田高典先生のご挨拶で始まり、講演会の講師は平成31年に卒業された、有限責任監査法人トーマツで公認会計士として勤めの池田ひなたさんです。「公認会計士ってどんな仕事？」「先生」として働くやりがい」と題し、公認会計士、監査証明業務、そして、公認会計士としての働き方についてご講演いただき、公認会計士の業務内容の理解が深まりました。さらに、公認会計士として働くやりがいについてお話しいただきました。池田さんは、会計や税務の専門知識を持って社会に出たかったこと、そして、通常の会社

員とは異なった業務を行いたかったために、公認会計士を目指され、在学中（3回生）に論文式試験に合格されました。監査証明業務を行うためには、取引の仕訳内容を理解するだけでは不十分であり、経営者への定期的なヒアリングによって会社はどのような目的での事業に力を入れているのか、また、生産・営業現場の体制や課題はどうなっているのかなど網羅的に理解する必要があります。会社全体を俯瞰的に捉えることが求められると強調されました。また、公認会計士として働く上で、1つの部門にいてだけで得られない情報や体験が得られることは良かった一方で、目上の人からの質問や相談に答える知識を備えることは大変であると仰いました。しかし、専門家として質問や相談に答えることは、信頼ややりがいにつながると熱く語られました。さらに、女性が公認会計士として働く意義として、資格を一度取得すれば、ライフステージの中で職場を離れても復帰しやすいとお話しになりました。講演後に参加者から今後のキャリアについて質問があり、今後の方向性について模索しているものの、会計数値の不正の傾向をAIに学習させデータ分析することに興味があると答えられました。当初の予定を超過し講演会が終了しました。

## 【交流会】

2023年度は、2022年度と異なり、お弁当を食べながら、交流会を行いました。交流会は、竹上尋規さん（3回生）の司会で、講演内容について質疑応答の後に、チーム対抗のクイズビンゴ大会を実施しました。クイズビンゴ大会とは、学生特別会員が考えた京都大学に関する様々な4択問題にチームで解答し、正解チームが好きな番号を1つ選び、チームのうち3人がビンゴ達成でクリアするということです。クリアした順番によって順位をつけ、1〜3位のチームには、コーヒーマーカー、スチームアイロン、たこ焼き器などの景品を用意しました。クイズビンゴ大会を通じて、参加者間で交流を図ることができ、大変盛り上がり



りました。交流会に参加した皆さんには、記念品として、同窓会オリジナルのハードカバーノートブックを配布しました。

学生企画委員会の宍道晴太さん、鈴木拓海さん、竹上尋規さん、田中隼人さん、徳廣和真さん、村上雄哉さんに、企画から当日の運営までお手伝いいただきました。学生企画委員会の皆さんのおかげで、無事に在学生イベントを開催することができました。また、依田先生をはじめ、諸富先生、田中先生、岩島先生、数村先生、ルースダン先生に講演会や交流会にご参加いただきましたこと厚く御礼申し上げます。学生特別会員でまだ参加されたことがない方は、是非一度ご参加ください。皆さんのご参加をお待ちしております。

草野 真樹

（前同窓会学内  
企画委員長）

